

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		道路の路面改良				整理番号	597		枝番号				
所属部課名		都市整備部 建設課		コード	221007		連絡先電話番号	3426		昨年度整理番号	717		
係名		設計係				上位施策名			No				
予算事業名		道路の路面改良		コード	58150		道路交通体系の整備			5			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		28 年度		根拠法令等						
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 全面改良する道路・道路利用者(車両・歩行者)・沿道住民						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		道路保全のために、老朽化した道路の全面改良を行う				活動指標名(式)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		老朽化した全面道路を改良することにより、歩行者の安全や歩き易さ、車両の円滑な通行を図る。また車両よる騒音・振動等を低減し、沿道住民の居住環境改善をする。				成果指標名(式)						
							(1) 年度毎 路面改良整備面積 (2) 路面改良整備累積面積(平成6年～)						
						(1) 年度毎 路面改良整備実績÷実施計画量(単年度) (2) 路面改良整備累積面積(平成6年度～)÷平成17年度までの累積面積							
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
							計画	実績		17 年度			
指標	活動指標(1)		㎡	36,025		31,912		24,594	23,197	33,792	40,000	58.0	
	活動指標(2)		㎡	249,314		281,226		305,820	304,423	339,423	419,423	72.6	
	成果指標(1)		%	120		106		82	77	97	100	77.3	
	成果指標(2)		%	59		76		73	73	81	100	72.6	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	456,085		496,224		423,579	344,034	599,253	特記事項		
	(内)委託費		千円	21,578		19,898		19,674	18,008	23,482	実施計画		
	職員数(正規 非常勤)		人	16.41		8.07		8.60		7.79	8.41		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	149,052		73,300		78,114	70,757	76,388	14年度以前 30,000㎡	
		非常勤職員分		千円	0		0		0	0	0	15年度 35,000㎡	
	総事業費 + +		千円	605,137		569,524		501,693	414,791	675,641	16年度以降 40,000㎡		
	単位あたりコスト ÷		円	16,798		17,847		20,399	17,881	19,994			
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円	16,744		38,694		24,223	66,956	70,023		
		特定財源計 +		千円	16,744		38,694		24,223	66,956	70,023		
差引:一般財源 -		千円	588,393		530,830		477,470	347,835	605,618				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		交通量の増加、車両の大型化等により、道路の老朽化は激しい。また、福祉のまちづくりの観点より、拡充の必要が生じている。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		道路の老朽化による騒音・振動や水溜りを至急直して欲しい。段差等を直して欲しい。路面に穴があいて危険なので改修して欲しい。										
	今後の予測		現在の事業量のまま推移すると、将来、積み残された事業が累積し、道路の管理上も大きな支障になるとともに、財政的にも大きな負担となってくることが予想される。										

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	94.3	活動指標(2)の14年度達成率%	99.5	14年度予算執行率%	81.2
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	コスト縮減工法(SK工法・機械施工の拡大)やリサイクル材の活用を積極的に取り入れ、コスト縮減に努めている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	実施計画で、15年度は35,000㎡、16年度以降40,000㎡に拡充している					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 快適な交通環境の確保と沿道の居住環境の改善を図るためには、老朽化した道路を計画的に改修していく必要がある。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である	理由: 道路法の規定により、道路管理者である区が行う責務がある。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 事業費・活動量の増加	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 道路管理者の基本的な責務であり、受益者負担は考えられない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 道路の保全を対象としている事業である。したがって、対象は、道路それ自体と道路の利用者・沿道住民と限られる				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 常に、工法及びコスト縮減を検討し、改善を行っているため、常に最小のコストに努めている。				
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 杉並区管理道路面積は約330万㎡あり、道路の平均耐用年数の30年で除すると、年間約11万㎡の事業量が必要となる。これに道路維持補修工事や占用企業による全面復旧工事の約2万5千㎡を引いても年間約8万5千㎡の事業量が必要である。現在の事業量では、将来、積み残された事業が累積されることが予想される。そのため、実施計画では、14年度は、3万㎡、15年度3万5千㎡、16年度以降は4万㎡と事業を拡充する計画である。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 低コスト工法を取り入れ、コストの縮減に努めている。従って、住民要望に的確に応えるには、事業量の拡充である。もし、年間8万㎡行うとすると、平成14年の経費の3倍以上の経費が必要である。当面、実施計画の4万㎡に拡充し、効率的に事業を行っていく。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 実施計画により、15年度3万5千㎡、16年度以降4万㎡と事業の拡充を計画している。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		雨水流出抑制対策設置工事				整理番号	598		枝番号			
所属部課名		都市整備部建設課		コード	221007	連絡先電話番号	3426		昨年度整理番号	718 719		
係名		設計係			上位施策名				No			
予算事業名		道路の路面改良		コード	58150	水害対策の推進				10		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				3 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区雨水流出抑制対策要綱							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2)							
	道路の路面改良工事を施工する道路・水害を受ける地域				(3)							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 道路の路面改良工事の際に、雨水を地下に浸透させる施設である浸透柵・浸透地下埋管を設置する。				活動指標名(式)							
				(1) 浸透柵設置累積箇所数(平成6年度～)								
				(2) 浸透地下埋管設置累積箇所数(平成6年度～)								
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 雨水を地下に浸透させることにより、河川への流入量を抑制する。				成果指標名(式)								
				(1) 時間あたりの累積浸透量								
				(2) 時間あたりの累積浸透量								
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		17	年度			
指標	活動指標(1)		①	箇所	817	947	1,067	1,042	1,172	1,432	72.8	
	活動指標(2)		②	m	536	604	704	662	762	962	68.8	
	成果指標(1)		③	m ³ /h	572	663	747	729	820	1,002	72.8	
	成果指標(2)		④	m ³ /h	354	399	465	437	503	635	68.8	
総事業費・コスト把握	事業費		⑤	千円	14,230	23,540	20,200	13,347	20,200	特記事項		
	(内)委託費		⑥	千円								
	職員数(正規 非常勤)		⑦	人	0.51	0.60	0.40	0.31	0.29	実施計画 浸透柵 130箇所 浸透地下埋管 100m 浸透量 浸透柵 0.7m ³ /h/箇所 浸透地下埋管 0.66m ³ /h/m		
	人件費	職員分(超勤分含む)		⑧	千円	4,632	5,450	3,633	2,816			2,634
		非常勤職員分		⑨	千円	0	0	0	0			0
	総事業費⑤+⑧+⑨		⑩	千円	18,862	28,990	23,833	16,163	22,834			
	単位あたりコスト⑩÷①		⑪	円	23,087	30,612	22,336	15,512	19,483			
	財源	受益者負担分		⑫	千円							
		国・都等からの支出金		⑬	千円							
		特定財源計⑫+⑬		⑭	千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源⑩-⑭		⑮	千円	18,862	28,990	23,833	16,163	22,834				
受益者負担比率⑫÷⑩		⑯	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		他の治水対策として神田川、環状七号線地下調節池や、和田弥生幹線地下道工事などの整備も進んでいるが、いまだ、水害の発生する地域はあり、総合治水の一環として、雨水の流出を抑制する必要がある。また、地下水の涵養や緑勢の回復にも役立っている。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		河川改修も未だ完了せず、水害は、発生している状況である。									
	今後の予測		総合治水対策の一環として、流域対策(雨水浸透施設設置)を時間当たり10ミリを目標として積極的に推進する。また、雨水循環による自然環境保全に効果的であるため、事業を進めて行く必要がある。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	97.7	活動指標(2)の14年度達成率%	94.0	14年度予算執行率%	66.1
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	路面改良工事と併せて施工しているため、施工条件(境界杭・電柱・汚水桝など構造物がある場合)により、設置不可能な場所がある					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	総合治水対策の一環であり、また自然環境を守るためにも不可欠な事業のため、障害物を避けできるだけ設置している。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由) ▼	理由: 雨水の下水道管への流入量を浸透施設の設置によって減らせる。また、地下水の涵養や緑勢の回復に役立つ。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由) ▼	理由: 路面改良工事に併せて浸透施設を設置している。道路管理者であり、水防管理者である区が行う必要がある。				
	(3) ①成果を向上させることができますか できる(へ) ▼ ②成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ↓ 事業費・活動量の増加 ▼	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由) ▼	理由: 道路内で行う雨水流出抑制対策の設置であるため、受益者負担の余地はない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか 対象を変更するのは適切でない(理由) ▼	理由: 住民を限定する余地はない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由) ▼	理由: 路面改良工事と併せて施行し、かつ、常に、工法及びコスト縮減を検討し、改善を行っているため、常に最小のコストに努めている。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 総合治水対策の一環であり、また自然環境を守るためにも不可欠な事業である。今後、事業を進めて行く必要がある。					
中長期的な視点	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 施工条件により、計画的に事業が進まないため、工法等を見直していく必要がある					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
短期的な視点	(2) 理由 中期的に工法等を見直していくが、当面現状維持の事業量で行う					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		買物道路整備				整理番号	600		枝番号			
所属部課名		都市整備部建設課		コード		連絡先電話番号	3426		昨年度整理番号	720		
係名 設計係					上位施策名				No			
予算事業名 ふれあい道路の整備					コード	58250		道路交通体系の整備		5		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				59 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 道路法第16条1項							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区商店街カラー舗装取扱要綱道路法第16条1項							
	カラー化する商店街道路・商店街の利用者及び商店会				(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 老朽化した道路の改良工事に併せ、商店街の要望により、カラー舗装化を行う。その際、カラー化費用の一部を商店街に補助する。				活動指標名(式) (1) 年度毎 買物道路整備延長 (2) 買物道路累積整備延長							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 商店街の道路をカラー化することにより、安全で快適に買物のできる歩行空間を確保し、商店街の活性化やイメージアップを図る。				成果指標名(式) (1) 年度毎 買物道路整備率(実施÷実績計画) (2) 買物道路整備達成率(累積整備延長÷目標値)								
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
							計画	実績		17 年度		
指標	活動指標(1)		m	216	878	248	249	363				
	活動指標(2)		m	7,388	8,266	8,514	8,515	8,878	10,178	83.7		
	成果指標(1)		%	103	98	100	100	100				
	成果指標(2)		%	73	81	84	84	87				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	28,612	121,468	60,227	64,800	73,191	特記事項			
	(内)委託費		千円	2,152	945	1,296	1,200	1,296	実施計画 14年度 高円寺(249m) 15年度 阿佐谷(360m) 17年度 西荻 永福 (1300m)			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.02	1.98	1.23	1.47	1.03				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	9,265	17,984	11,172	13,352	9,355			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	37,877	139,452	71,399	78,152	82,546				
	単位あたりコスト ÷		円	175,356	158,829	287,899	313,863	227,399				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	37,877	139,452	71,399	78,152	82,546					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		大規模店舗出店規制法の改正により、大規模店の出店が進んでいる。これにより、従来からの商店街は衰退してきている。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		商店街のカラー舗装化の要望は、寄せられている。平成14年度竣工高円寺パル商店街カラー舗装は、地元商店街の人々を始め、多くの区民に喜ばれている。									
	今後の予測		本事業は商店街の活性化にとって重要であるため、今後も引き続き要望が寄せられると思われる。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.4	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	107.6
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	平成14年度の高円寺パル商店街は、商店街の方々と打合せを綿密に行い、また、関係企業との調整をし、時間を要したが、よりよい道路整備となった。又、将来の維持管理を考慮し、工法の変更によって事業費が増となった					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：商店街の活性化はまちの活力を向上させ、快適で魅力ある空間を作ることに寄与する。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である	理由：基本的には区道の整備であり、区が行う必要がある。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 事業費・活動量の増加	理由：				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由：平成12年度から地元商店街の負担割合を舗装材料費の1/3から2/5へ変更した。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由：本事業は区内商店街の利用者及び商店街を対象としており、対象設定は適切である。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由：定期的に工法及びコスト縮減に検討を重ね努力し、改善に努めている。また平成12年度から地元商店会に対する区の助成割合を引き下げている。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 不景気の続く現在、買物道路の整備は商店街の活性化にとって重要な事業である。商店街の要望に応え、実施計画に基づき事業を進めていく必要がある。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 商店街の要望に左右される事業のため、補助率の見直し、PRの推進の必要性がある。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 平成16年度商店街からの要望なし					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		都市計画道路補助第131号線				整理番号	601		枝番号		
所属部課名		都市整備部建設課		コード	221010	連絡先電話番号	3428	昨年度整理番号	722 724		
係名				施設整備係		上位施策名			No		
予算事業名				都市計画道路		道路交通体系の整備			5		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				2年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 都市計画法第59条 (2) 道路法 (3) 電線共同溝の整備に関する特別措置法						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他										
	すべての当該道路利用者(電線類の管理者を含む) 当該道路沿道の居住者				活動指標名(式) (1) 電線共同溝敷設延長 (2) バリアフリー整備延長						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 15年度までに用地取得をほぼ完了し、それと並行して事業認可区間について17年までに道路拡幅整備及び南北歩行者アクセス路の整備を行う。また、拡幅と並行して電線管理者から一定の負担額を徴収し、道路下に「電線共同溝」を敷設する。(電線管理者はその後電線共同溝へ入線し、不要になった電柱等の除去を行い地中化が完了。)										
意図(対象をどのような状態にしたいのか) 道路拡幅や架空線の地中化等により沿道の住環境と防災性能・景観を向上し、より一層安全で快適な交通・通信・住環境等を提供する。また、南北歩行者アクセス路の整備を行い、ターミナル機能の増進と交通安全の向上を図る。				成果指標名(式) (1) 電線共同溝敷設率(%) = 累計敷設延長 / 敷設総延長 (2) バリアフリー整備率(%) = バリアフリー整備延長 / 整備対象延長							
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		16年度			
指標	活動指標(1)		m	190	260	50	50	50	550	9.1	
	活動指標(2)		m	0	0	80	80	40	520	15.4	
	成果指標(1)		%	35	76		85	100	100	85.0	
	成果指標(2)		%	0	0		15	23	100	15.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	59,467	193,235	1,215,393	989,751	662,303	特記事項 活動指標(1)の16年度目標値は第1期分(道路横断部含む)のみとした。活動指標(1)の目標値は累計。14年度までの累計実績:470m 活動指標(2)の16年度目標値は第1期分のみとした。14年度までの累計実績:80m		
	(内)委託費		千円	1,879	16,133	17,019	12,182	20,748			
	職員数(正規 非常勤)		人	6.46	6.94	5.50	6.35	5.55			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	58,676	63,036	49,957	57,677			50,411
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 ++		千円	118,143	256,271	1,265,350	1,047,428	712,714			
	単位あたりコスト ÷		円	621,805	985,658	25,307,000	20,948,560	14,254,280			
	財源	受益者負担分		千円	1,531	2,288	220	756			400
		国・都等からの支出金		千円	25,137	67,635	1,874	297,030			69,000
		特定財源計 +		千円	26,668	69,923	2,094	297,786			69,400
差引:一般財源 -		千円	91,475	186,348	1,263,256	749,642	643,314				
受益者負担比率 ÷		%	1.3	0.9	0.0	0.1	0.1				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		狹窪地域は、区内最大の商業・業務集積地であり、また、狹窪駅は交通拠点である。本路線は狹窪南口に位置し、現道が狭いいため交通形態は一方通行で歩車道は分離されていない。この状況は平成17年の事業完了まで変化しない。また、架空線の地中化については道路景観、防災上の観点から要望が高かったが、全国レベルでは国のITインフラ整備施策が大幅な拡大をみている。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		道路景観や防災上の観点から、架空線の地中化に対する要望は高まっている。また、当該計画道路及び南北歩行者アクセス路について早期の整備完了を望む声がある。								
	今後の予測		電線共同溝敷設工事が完了した箇所へ、電線類等の管理者が入線し、地中化が順次完了していく予定である。他の路線についても地中化やバリアフリー化の要望が増えると考えられる。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	81.4
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	南北歩行者アクセス路整備(2件、15～16年度施工予定)において、国庫補助が前倒し採択(景気浮揚対策)されたため、それに対応する予算を補正で計上し15年度に繰り越し実施する。また14年度施工の南北歩行者アクセス路整備において占用企業移設工事遅延のため次年度に繰越を行った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	関係機関、地元住民、警察等と協力、合意形成をして事業を着実に進めていく。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)		理由:道路の拡幅、架空線の地中化等は道路交通性能や防災性能、都市景観の向上などに大いに寄与し、都市機能と住環境の増進が期待できる。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)		理由:都市計画道路は、規格・規模から、国・都・区と役割分担が分けられている。区は、地域内交通の円滑化、歩行者の安全確保を図る生活密着型の都市計画道路を整備する必要がある。また、電線共同溝の設置管理は法令上当該道路管理者が行なうこととなっている。			
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更		理由:			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)		理由:事業の性格上、受益者負担の考えはない。また、電線共同溝の設置管理は法令上当該道路管理者が行なうこととなっている。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)		理由:定量的に成果と対象を捉えるのが困難な事業である。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)		理由:道路実施設計時において、「土木構造物コスト縮減計画」に則り行い、建設費用の低減を図っている。 南北歩行者アクセス路と道路本体、さらに電線共同溝敷設と組み合わせることで施工することによりコストをすでに削減している。			
今後の事業のあり方		<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 平成17年までに、街路本体と南北歩行者アクセス路、電線共同溝敷設とを組み合わせることで施工することにより、各工事などの整合を図る。未着手の都市計画道路についても、今後整備を進めていく。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 新たな都市計画道路の整備については、財源確保と整備主体を明確にする必要がある。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 16年度は街路本体(車道・歩道)の築造費と用地費が必要。(15年度と同規模必要)					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		都市計画道路補助第226号線				整理番号	602		枝番号		
所属部課名 都市整備部 建設課		コード	221010		連絡先電話番号	3428		昨年度整理番号	723・725		
係名 施設整備係		上位施策名			No						
予算事業名 都市計画道路		コード	58700		道路交通体系の整備			5			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		13年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 道路法						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 電線共同溝の整備に関する特別措置法						
	都市計画道路補助第226号線(概成区間:高円寺南4-7~4)の利用者及び周辺の居住者				(3) 高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律(交通バリアフリー法)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 13年度に行った電線共同溝予備設計委託の成果と地元の要望に基づき、道路改修の基本設計を委託した。				活動指標名(式)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 老朽化した路面を改良し、騒音、振動を解消するとともに、電線類の地中化、歩道の拡幅と段差解消を行い、高齢者、障害者にやさしいみちづくりを進める。				成果指標名(式)							
				(1) 電線共同溝整備延長(区間延長:高円寺南4-7~1)							
				(2) バリアフリー整備延長(区間延長:高円寺南4-7~1)							
				(1) 電線共同溝整備率% = 電線共同溝整備延長 / 整備対象延長							
				(2) バリアフリー整備率% = バリアフリー整備延長 / 整備対象延長							
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		19年度			
指標	活動指標(1)		m	0	220	0	0	0	550	0.0	
	活動指標(2)		m	0	220	0	0	0	550	0.0	
	成果指標(1)		%	0	40	0	0	0	100	0.0	
	成果指標(2)		%	0	40	0	0	0	100	0.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	203,361	41,720	35,680	23,906	68	特記事項		
	(内)委託費		千円							活動指標(1)(2):13年度実績はそれまでの累計数値	
	職員数(正規 非常勤)		人	3.48	0.58	0.25	0.25	0.10		各目標値は累計	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	31,609	5,268	2,271	2,271	908		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	234,970	46,988	37,951	26,177	976			
	単位あたりコスト ÷		円		213,582						
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円	37,412	9,045					
		特定財源計 +		千円	37,412	9,045	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	197,558	37,943	37,951	26,177	976				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高円寺駅地区では13年度に多数の区民、障害者に区長も参加してバリアフリーのタウンウォッチングが行われている。策定中の交通バリアフリー基本構想で当該道路は重点整備地区の特定経路に指定される見込である。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		電線類の地中化と歩道の拡幅に地元の期待が大きい。だれもが安心して歩けるみちづくりも求められている。百日紅などの高木を配した植栽も求められている。パーキングメーターの必要性も認めている。早期着工、完了が望まれている。								
	今後の予測		高木は根が張るため、電線類の地中化が難しくなる。歩道の拡幅にはパーキングメーターが障害となり、地元要望と公安委員会との調整が必要である。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%		活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	67.0
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	前年度改革案により、東京電力、NTT、東京ガス、上下水道局との事前調整を充分に行い、委託内容を明確にして設計を行った。				
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由:老朽化した路面を改良することにより、騒音、振動が低減して生活環境が向上する。電柱の撤去、歩道の拡幅、段差解消によりだれもが安心して歩けるみちづくりが進み、駅から公共施設へのアクセスが改良される。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である	理由:法により区が管理する道路である。			
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由:			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ)	理由:			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由:設計にあたっては、水道、ガス、下水などのライフラインに最も影響のない工事、資源の再利用や省エネルギーに努め、工事期間の短縮、工事費の縮減を進めている。			
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 15年7月、国土交通省の「あんしん歩行エリア」に指定された。国庫補助の削減が続く中、特定交通安全施設整備事業の補助対象となる可能性がある。				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 「あんしん歩行エリア」は19年度末に整備を完了しなければならない。交通バリアフリーの整備は22年度までに完了しなければならない。国庫補助は削減の方向である。 事業を計画期間内に終わらすために関係機関(NTT・東電)、地元住民、警察等と協議を行い合意形成を図ることが必要である。				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 街路および電線共同溝の実施設計委託。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		橋梁維持補修				整理番号	605		枝番号		
所属部課名		都市整備部建設課		コード	221010	連絡先電話番号	3428		昨年度整理番号	726	
係名 施設整備係					上位施策名				No		
予算事業名 橋梁維持補修					コード	58700		災害に強い都市の形成		9	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 30 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第281条2項						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区管理橋梁の利用者				(2) 道路法第42条1項						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 橋梁金属部分の塗装や定期点検調査による各部材の計画的な維持補修を行う。				(3)						
	活動指標名(式)				(1) 塗装実施面積						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 適切な維持保全を行い、橋梁利用者の安全を確保する。				成果指標名(式)							
				(1) 塗装実施率(単年度:実績÷計画)							
				(2)							
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%
							計画	実績	年度		
指標	活動指標(1)		m ²	1,687	0	1,500	1,560	1,570			
	活動指標(2)		橋	1	1	1	1				
	成果指標(1)		%	99	0	100	104				
	成果指標(2)		%								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	13,627	6,447	14,050	12,704	15,907	特記事項		
	(内)委託費		千円	0	0	0	0		活動指標(1)		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.49	0.70	0.35	0.35	0.20	12年度計画		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,451	6,358	3,179	3,179	1,817	1,693 m ²	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	13年度計画	
	総事業費 + +		千円	18,078	12,805	17,229	15,883	17,724	1,693 m ²		
	単位あたりコスト ÷		円	10,716		11,486	10,181	11,289	活動指標(2)		
	財源	受益者負担分		千円						12年度計画	
		国・都等からの支出金		千円						1 橋	
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	13年度計画	
差引:一般財源 -		千円	18,078	12,805	17,229	15,883	17,724	1 橋			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		橋梁は交通上、防災上重要な構造物であり、良好な維持管理により耐用年数を延ばすことが可能である。区内の橋梁のほとんどは架設後30年以上経過しているため、維持補修の必要度が增大している。特に、多くの橋梁は止水性(排水)が悪く、補修必要度の高い26橋を選定し、平成12年度に策定した整備計画に盛り込んだ。また、金属部の塗装については全橋梁を対象にし、ほぼ6年周期で塗り替えを行っている。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		橋梁の破損状態を把握することは外見からでは困難であり、住民からの要望や苦情の多くは高欄の色、振動等である。								
	今後の予測		橋梁は交通上、防災上必要不可欠であり、当面平成12年度に策定した橋梁整備計画(維持補修)に基づく維持保全を継続的に行い、適切に管理していくことが求められる。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	104.0	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	90.4
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	橋梁塗装はほぼ計画どおり実施を行った。また、維持補修として継ぎ目伸縮装置の取替えを行った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	塗装材に耐候性の高い塗料を使用した。(塗装サイクルを延ばし塗装回数を減らす)					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 橋梁の耐用年数を延ばし、利用者の安全性・利便性を確保するには適切な維持保全が必要である。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 事業費・活動量の増加	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 不特定多数の利用者があり、受益者負担は考えられない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 橋梁の利用者を限定することはできないので、対象自体は適切である。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(手段・方法の変更)	理由:				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 橋梁の耐用年数を延ばすためには、平成12年度に策定した橋梁整備計画を着実かつ継続的に実行することが大切である。そうした中で、橋梁金属部の塗装においては、より気候の変化に強い材料を引続き使うことでサイクル(現在は6年周期)を延ばし、塗装回数を減らす。(塗装に係るコスト減)					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 継続的に事業が推進できないと、橋梁の安全性が著しく低下し、通行時の大きな支障になる。また、財政的にも大きな負担となることが予想されるため、今後は、橋梁整備計画に基づき継続的・計画的に事業を推進していく必要がある。塗装材料の変更については、各材料の費用対効果を詳細に検討することが大切である。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		橋梁新設改良				整理番号	606		枝番号		
所属部課名		都市整備部建設課		コード	221010	連絡先電話番号	3428		昨年度整理番号	727	
係名 施設整備係					上位施策名				No		
予算事業名 橋梁新設改良					コード	58900		災害に強い都市の形成		9	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				54 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第281条2項						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 道路法第16条						
	杉並区管内橋梁の利用者				(3) 道路橋示方書						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 橋梁整備計画に基づき耐震補強を行い、あわせて橋梁金属部分の塗装、定期点検調査による各部材の整備を進める。				活動指標名(式) (1) 耐震補強橋梁数 (2)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 災害時における避難路を確保するとともに、地域住民の安全や利便性の向上を図る。				成果指標名(式) (1) 耐震補強橋梁整備率 (2)							
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%
					計画	実績			22 年度		
指標	活動指標(1)		橋	0	3	5	5	3	24	33.3	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	0	13	33	33	46	100	33.0	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	96,240	52,540	42,250	42,040	特記事項 活動指標(1)の目標値は累計。 14年度までの累計実績: 8橋 成果指標(1):累計数値		
	(内)委託費		千円	0	0						
	職員数(正規 非常勤)		人	0.00	0.40	0.45	0.45	0.35			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	3,633	4,087	4,087			3,179
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	0	99,873	56,627	46,337	45,219			
	単位あたりコスト ÷		円		33,291,000	11,325,400	9,267,400	15,073,000			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	0	99,873	56,627	46,337	45,219				
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		杉並区管内橋梁は117橋あり、昭和54年以来、基準不適合な橋梁69橋について順次改良を行ってきたところである。こうしたなか、阪神淡路大震災に伴う示方書の改訂、災害対策強化を望む社会的要請などにより、対象橋梁116橋の定期点検調査や啓開道路などに架かる重要度の高い橋梁24橋について優先的に耐震補強工事を進めている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		阪神淡路大震災以降、災害対策強化に関する要望がある。								
	今後の予測		今後、道路橋示方書の改訂による整備基準の見直しや、交通の質・量に十分に対応するために定期的に安全点検を行い、計画的に整備を行う必要がある。優先橋梁24橋のみならずその他の橋梁についても計画的に補強を行う。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	80.4
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	橋梁整備計画に基づき、計画どおりに事業を進めている。				
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	計画数値(整備対象橋梁数)の減により予算が削減されている。				
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 計画的に橋梁の耐震補強や拡幅整備を行うことにより、災害時における避難路を確保するとともに、地域住民の安全や利便性の向上が図れる。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 道路管理者として橋梁の維持管理は区が行わなくてはならない。			
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 不特定多数の利用者があり、受益者負担はなじまない。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 橋梁の利用者を限定する余地はない。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 定期的に工法及びコスト縮減に検討を重ね努力し、改善に努めている。			
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 平成12年度に策定した橋梁整備計画に基づき耐震補強及び拡幅事業を進めているが、すぐにも起きるかも知れない災害に備え、常に早期の完了を目指し地域住民の安全や利便性の向上を図らなければならない。 交通安全上及び防災上から平成17～18年度に補強に併せ拡幅整備を1橋進めたい。(実施計画上の前倒し)				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 実施計画の前倒しで拡幅整備を予定している橋梁の基本計画を策定するため。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		水防応急対策				整理番号	607		枝番号			
所属部課名		都市整備部建設課		コード	221001	連絡先電話番号	3422		昨年度整理番号	752		
係名 計画調整係					上位施策名			No				
予算事業名 水防対策					コード	65600		水害対策の推進		10		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				40 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 水防法第3条(市町村の水防責任)							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 東京都水防条例							
	区域全体(水害発生の恐れのある区域)の区民の生命及び財産				(3) 杉並区地域防災計画							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 土の手配及びポンプ排水作業などの水防活動				活動指標名(式)							
				(1) 緊急水防作業委託回数								
				(2) 水防態勢回数								
意図(対象をどのような状態にしたいのか) 迅速かつ的確な水防活動を行うことにより、浸水の未然防止を図り、被害を最小限にする。				成果指標名(式)								
				(1) 土のう積み回数								
				(2) ポンプ排水回数								
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
							計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		回	1	2			1				
	活動指標(2)		回	4	5			4				
	成果指標(1)		個	802	1,503			532				
	成果指標(2)		回	5	4			0				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,711	4,087	5,112		585		5,032	特記事項 水害発生時の対策であり、計画・目標値ともに設定できない。コストについても水害規模により異なる。	
	(内)委託費		千円	2,199	1,732	4,500		49		4,500		
	職員数(正規 非常勤)		人	1.44	0.43	0.43		0.43		0.30		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	13,080	3,906	3,906		3,906			2,725
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0			0
	総事業費 + +		千円	15,791	7,993	9,018		4,491		7,757		
	単位あたりコスト ÷		円	15,791,000	3,996,500			4,491,000				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0		0			0
差引:一般財源 -		千円	15,791	7,993	9,018		4,491		7,757			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0		0.0		0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		被害件数 S60 - 300件 元年 - 453件 H5 - 284件 H11 - 180件 H12 - 3件 H13 - 47件 H14 - 7件									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		都市型水害時、土のうの手配、ポンプの設置等の対応が遅いので迅速に作業を行ってほしいとの要望がある。									
	今後の予測		現在工事中の環状七号線地下調節池(第二期事業)及び和田弥生下水道幹線が完成すれば、環七から下流域の水害は軽減されるが、他の地域についての危険度はあまり変わらない。河川や下水道の設計計画量を上回る、短時間の集中豪雨による被害が予測される。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	11.4
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	水害対策時の事業であり、計画設定できない。平成14年度は被害が少なかった。			
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	自分の生命と財産は自分で守るという意識を高めるため、広報紙により啓発を行っている。また、地域の水害に対する危険性を知り、水防、避難場所、生活上の工夫に役立つように14年度作成した「杉並区洪水ハザードマップ」を区ホームページに掲載した。			
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 近年、集中豪雨による地下浸水などの被害が多くなっており、土のう積み・ポンプ排水による被害の軽減が必要となっている。		
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である	理由:		
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:		
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 受益者負担の考え方はない。		
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 水害発生箇所を限定、特定できない。		
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 既に経費の削減をしてきており、これ以上は難しい。		
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合			
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 集中豪雨時には、土のう要請が区に一斉に集中するため、水防配備態勢の限られた人数だけでは、迅速な対応は難しい。そのため区民が自衛できるように、土のうなどを事前に各家庭に貸し出しておく。そのためのお知らせを広報に掲載する。また現在窓口閲覧や杉並区ホームページに掲載している「杉並区洪水ハザードマップ」を便利帳へ掲載し、防災意識の高揚を図る。地下施設を有する建物を建築する場合には、浸水や内水に強い建物の建築をお願いする。 (2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 各家庭での土のう積みや保管を容易にするために、貸し出し土のうの小型化を行う。			
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由	建設局や下水道局と、被害の情報を検討し、協働して被害の発生を防ぐ。 下水道局と共同して、被害の発生しそうな家屋に対して、防災意識の高揚を図る。 既に経費の削減を行っており、これ以上の削減は難しい。		

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		水防訓練				整理番号	608		枝番号			
所属部課名		都市整備部建設課		コード	221001	連絡先電話番号	3422		昨年度整理番号	753		
係名 計画調整係					上位施策名				No			
予算事業名 水防対策					コード	65700		水害対策の推進		10		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				40 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 水防法第3条(市町村の水防責任)							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 東京都水防条例、東京都水防計画							
	水防管理団体(区)と消防関係機関等				(3) 杉並区地域防災計画							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区と消防署、消防団、防災市民組織等と合同で水防演習を実施する。				活動指標名(式) (1) 合同水防演習実施回数 (2)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 消防関係機関等と合同で水防演習を行うことにより、水防技術の習得、研鑽及び水防意識等の高揚を図る。				成果指標名(式) (1) 参加人員総数 (2)								
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
							計画	実績		16年度		
指標	活動指標(1)		回	1	1	1	1	1	1	1	100.0	
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		人	471	377	400	380	377	380	380	100.0	
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,149	1,126	1,136	1,124	1,136	特記事項			
	(内)委託費		千円	640	640	650	641	650				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.74	0.09	0.09	0.09	0.06				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	6,721	817	817	817	545				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	7,870	1,943	1,953	1,941	1,681				
	単位あたりコスト ÷		円	7,870,000	1,943,000	1,953,000	1,941,000	1,681,000				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	7,870	1,943	1,953	1,941	1,681					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		地下室を備えた住宅や集合住宅が増え、集中豪雨による地下浸水の被害が増加している。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		水防演習に対する要望・苦情は特にない。									
	今後の予測		現在、工事中の環状七号線地下調節池(第二期事業)及び和田弥生下水道幹線が完成すれば、環七から下流の水害は軽減されるが、これ以外の地域についての危険度は変わらない。河川や下水道の設計計画を上回る、短時間の集中豪雨による被害が予測される。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	98.9
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	演習参加職員をローテーション化し、多くの職員が必ず参加できるようにしている。				
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 水害時に区役所だけの活動には、限界があるため、合同で水防演習を行い、消防関係団体との連携や、水防態勢の強化を図る必要がある。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的事業である	理由:			
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 受益者負担の考えはない。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 水防管理団体である区職員の参加をこれ以上縮小することはできない。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 既に経費の削減をしてきており、これ以上は難しい。			
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 演習参加者をローテーション化することにより、水防活動に対する職員の意識の高揚と技術の習得を図る。さらに消防関係機関との連携の強化を図る。 (2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 演習内容については、よく検討し、消防関係機関と協議・調整していく。				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由	既に経費の削減を行っており、これ以上の削減は難しい。演習内容の工法をよく検討し、最近の様々な被害に対応していく。			

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		テレメーターシステム維持管理				整理番号	609		枝番号				
所属部課名		都市整備部建設課		コード	221001		連絡先電話番号	3422		昨年度整理番号	754		
係名		計画調整係				上位施策名			No				
予算事業名		水防対策		コード	65600		水害対策の推進			10			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 40 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 水防法第3条(市町村の水防責任) (2) 東京都水防条例、東京都水防計画 (3) 杉並区地域防災計画								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区域全体(水害発生の恐れのある地域)の区民の生命及び財産												
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 雨量・水位の観測装置等の計画的改修及び維持管理。防災気象情報の収集。				活動指標名(式) (1) 保守点検回数 (2) 防災気象情報の収集日数								
	意図(対象をどのような状態にしたいのか) 台風・集中豪雨時の正確な情報を速やかに収集・把握し、迅速な水防活動を行うことにより、被害を最小限にする。				成果指標名(式) (1) 雨量・水位の観測装置及び気象情報を活用した水防態勢の回数 (2)								
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%	
							計画	実績		16年度			
指標	活動指標(1)		回	2		2		2	2	2	2		100.0
	活動指標(2)		日	365		365		365	365	366	365		100.0
	成果指標(1)		回	4		4			4				
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	10,339		10,165		8,161	11,545	8,161	特記事項		
	(内)委託費		千円	6,413		6,328		4,200	4,200	4,200			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.27		0.78		0.78		0.79		0.54	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	11,535		7,085		7,085	7,176	4,905		
		非常勤職員分		千円	0		0		0	0	0		
	総事業費 + +		千円	21,874		17,250		15,246	18,721	13,066			
	単位あたりコスト ÷		円	10,937,000		8,625,000		7,623,000	9,360,500	6,533,000			
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0		0		0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	21,874		17,250		15,246	18,721	13,066				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		近年、集中豪雨による被害が多く、河川沿いの地域以外でも被害が出るようになった。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		水位警報装置のサイレンがうるさいなどの苦情がある。										
	今後の予測		現在工事中の環状七号線地下調節池(第二期事業)及び和田弥生下水道幹線が完成すれば、環七から下流域の水害は軽減されるが、他の地域についての危険度は変わらない。河川や下水道の設計計画を上回る、短時間の集中豪雨による被害が予測される。										

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	141.5
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	なし					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	維持管理経費を見直し、経費設定を行った。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由:被害軽減のための迅速な水防活動を行うためには、正確な雨量・水位の観測値、精度の高い気象情報が必要である。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由:受益者負担の考え方はない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由:水害発生箇所を限定・特定できない。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由:既に維持管理経費の削減を行ってきている。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 設置時期から経年し、テレメータ装置の老朽による維持管理経費がかかる。実施計画に基づき、テレメータ装置全体を改修することで、更なる維持管理経費の削減とシステムの効率的な運用を進める。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 テレメータのシステム設計や機器の改修費用が高額なため、耐用年数に達した機器から順次改修していく。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	現時点で最小限の費用で維持管理を行っており、これ以上の削減は出来ない。また次年度テレメータ装置の改修は考えていない。しかし、借地先の建築工事に伴い、現在撤去している水位観測局舎1基(警報装置、電源装置、局舎、引込柱他)を平成15年度に再設置するため、設置工事費が発生する。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		雨水浸透施設設置工事への助成				整理番号	610		枝番号		
所属部課名		都市整備部建設課		コード	221004	連絡先電話番号	3424		昨年度整理番号	755	
係名		技術管理係			上位施策名				No		
予算事業名		雨水流出抑制対策工事助成		コード	59850	水害対策の推進				10	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 6年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区雨水流出抑制対策推進要綱(昭和58年6月7日) (2) 杉並区雨水流出抑制施設設置指導要綱(平成6年3月15日) (3) 杉並区雨水浸透施設設置助成金交付要綱(平成6年3月15日)						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 敷地面積が1,000㎡未満で個人所有の住宅										
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 総合治水対策・雨水循環による自然環境保全の一環として、雨水流出抑制施設(雨水浸透ます等)の設置者に対して40万円を限度に工事費の一部を助成する。				活動指標名(式) (1) 助成件数 (2) 助成金額						
	意図(対象をどのような状態にしたいのか) ①浸水被害を軽減する ②地下水の涵養と緑勢の回復				成果指標名(式) (1) 雨水の1時間当りの浸透量(単年度) (2) 雨水の1時間当りの浸透量(平成6年度からの累計)						
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		16年度			
指標	活動指標(1)		① 件	29	46	50	33	50	50	66.0	
	活動指標(2)		② 千円	9,895	14,237	18,000	11,240	18,000	18,000	62.4	
	成果指標(1)		③ ㎡	218	323	315	261	350	350	74.6	
	成果指標(2)		④ ㎡	2,481	2,804	3,119	3,065	3,415	3,765	81.4	
総事業費・コスト把握	事業費		⑤ 千円	10,366	14,707	18,463	11,702	18,428	特記事項		
	(内)委託費		⑥ 千円								
	職員数(正規 非常勤)		⑦ 人	0.92	1.30	0.90	1.00	0.90			1.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		⑧ 千円	8,356	11,808	8,175	8,175			8,175
		非常勤職員分		⑨ 千円	0	0	2,935	2,935			2,935
	総事業費⑤+⑧+⑨		⑩ 千円	18,722	26,515	29,573	22,812	29,538			
	単位あたりコスト⑩÷①		⑪ 円	645,586	576,413	591,460	691,273	590,760			
	財源	受益者負担分		⑫ 千円							
		国・都等からの支出金		⑬ 千円	4,947	7,118	0	0			0
		特定財源計⑫+⑬		⑭ 千円	4,947	7,118	0	0			0
差引:一般財源⑩-⑭		⑮ 千円	13,775	19,397	29,573	22,812	29,538				
受益者負担比率⑫÷⑩		⑯ %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成6年度から平成14年度まで、浸透ます1,329個・浸透トレンチ4,802m設置し、時間当たり3,065㎡の雨水浸透量を確保した。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		助成金額を増額してほしい。								
	今後の予測		総合治水対策の一環として、雨水浸透施設を設置し時間当たり10㎡対応を目標として積極的に推進する。また、雨水循環による自然環境保全に効果的な本事業は、今後拡大していく必要がある。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	66.0	活動指標(2)の14年度達成率%	62.4	14年度予算執行率%	63.4
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	比較的小規模な工事が多かったため、申請が少なかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	助成金額の増額は、厳しい状況。今後の課題とする。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 雨水の下水道管への流入量を浸透施設の設置によって減らせる。(浸水被害の軽減)また、地下水の涵養や緑勢の回復に役立つ。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 総合治水対策の一環として、また、水害の軽減や自然環境保全など、区民の安全と生活環境の向上に寄与するため、区が助成を行う必要がある。				
	(3) ①成果を向上させることができますか できる(へ) ②成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ↓ 対象の拡大	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 本事業の受益者は助成対象者ではなく、主に水害の恐れのある区民の不特定多数であり、助成金を受けた区民も浸透施設設置工事費の超過分を負担している。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ)	理由:				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 40万円を上限として標準工事費の約8割を助成しているが、施工主は実費との差額を自己負担しているため、コストを下げる余地はない。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 敷地面積1,000㎡未満の個人の所有住宅に限定している助成を、対象敷地面積を拡大することで枠が広がり事業効果は向上する。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 対象敷地面積を拡大することで、雨水浸透量が増え事業効果は向上するが、建築費用が増となり、施工主の自己負担が増大する。今後助成金額の限度の検討が必要である。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 個人の所有住宅に対して、建築確認の申請時などに、雨水流出抑制対策の協力要請を行っているが、今後さらに民間の協力を得るために、助成金制度をPRし本事業の拡大を図っていく。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		憩いの水辺創出				整理番号	611		枝番号		
所属部課名		都市整備部建設課		コード	221010	連絡先電話番号	3428		昨年度整理番号	757	
係名		施設整備係			上位施策名				No		
予算事業名		憩いの水辺創出		コード	60100	水辺とみどりの保全・創出				12	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第281条2 (2) 河川法第16条 (3) 特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他										
	区内三河川(神田川、善福寺川、妙正寺川)流域の居住者及び利用者				活動指標名(式)						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 区内三河川(神田川、善福寺川、妙正寺川)区域において、人が水にふれ、憩うことのできる水辺環境を創出する。平成14年度はそのため事業計画作成の委託(ふれあいの水辺整備事業計画作成委託)を行った。				(1) 河川環境整備延長 (2)						
意図(対象をどのような状態にしたいのか) 区民にやすらぎやうるおいを与え、生活活力の増進を図る。				成果指標名(式)							
				(1) 河川環境整備率(河川環境整備延長/河川環境整備対象延長) (2)							
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		m	0	24,800	0	0	0	38,340	0.0	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	0	65	0	0	0	100	0.0	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円		163	5,740	4,975	7,930	特記事項 活動指標(1)の目標値は累計。13年度実績値はこれまでの累計数値。 事業計画により河川内湧水施設を2年間で2箇所整備する。14年度はそのうちの1箇所について設計を行った。		
	(内)委託費		千円			5,700	4,935	1,500			
	職員数(正規 非常勤)		人		0.30	0.25	0.25	0.35			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	2,725	2,271	2,271			3,179
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 ++		千円	0	2,888	8,011	7,246	11,109			
	単位あたりコスト ÷		円		116						
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	0	2,888	8,011	7,246	11,109				
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		河川沿いの空間を親水性のある散策路として整備を行っていた「親水プロムナードの整備」事業を盛り込んだ13年度からの新規事業であり、13年度は研究・調査を行い14年度は人がふれあえる水辺環境の創出について事業計画の作成委託を行った。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		みどりや水の自然環境を大切にする区民の意識の高まりを考慮しつつ、水と身近に親しめる環境づくりを、積極的に推進することが期待されている。								
	今後の予測		都市化の進展により区民が水と親しみにくいものとなってきている。杉並の貴重な自然環境である河川について安全性や治水機能を確保しながら、区民が水と親しめるシンボル空間として再生することがますます求められると予測される。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%		活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	86.7
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	14年度はほぼ計画通り予算を執行した。(執行残は委託契約による落札差)				
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由) ▼	理由: 河川沿いの水辺空間をよりみどりや水に親しめる環境に変えていくことは、失われつつある自然環境を保全・創出していくことに大きく貢献し、区民の自然を大切にすることをより高めていく。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由) ▼	理由: 河川法その他により区が行える範囲には限界があるが、区が行う必要がある。			
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) ▼ 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更 ▼	理由:			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由) ▼	理由: 不特定多数の利用者があり、受益者負担はなじまない。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか 対象を変更するのは適切でない(理由) ▼	理由: 環境づくりにおいて、居住者や利用者を限定することはできない。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(手段・方法の変更) ▼	理由:			
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業計画に基づき具体化に向けて検討を行う。また、整備についてはよりコスト縮減を考慮した工法を検討する。さらに、自然との親しみを大切にしたいと願う区民意識の高まりを考慮しつつ、ランニングコストの低減についても検討する。				
中長期的な視点	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
短期的な視点	(2) 理由				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		カラー舗装工事				整理番号	612		枝番号	1				
所属部課名		都市整備部建設課		コード	221007		連絡先電話番号	3426		昨年度整理番号				
係名				設計係				上位施策名		No				
予算事業名				ふれあい道路の整備		コード	58250		道路交通体系の整備		5			
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		14年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地方自治法281条2項 (2) 道路法16条1項・42条1項 (3)							
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				都市計画道路補助第226号線の完成とともに通過交通が減った道路をカラー化する。				活動指標名(式)				(1) 平成14年度にカラー舗装を行う道路延長	
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				カラー化することにより賑わいを演出するとともに、安全で快適な歩行空間を確保する。また、路面を改良することにより、車両・歩行者の円滑な通行及び沿道住民の居住環境を改善する。				成果指標名(式)				(1) 実績率(実績÷計画)	
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%					
					計画	実績		14年度						
指標	活動指標(1)		m			92	92		92	100.0				
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		%				100							
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円			10,541	13,602		特記事項					
	(内)委託費		千円			396	366							
	職員数(正規 非常勤)		人			0.22	0.31							
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	1,998	2,816	0					
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	0	0	12,539	16,418	0						
	単位あたりコスト ÷		円			136,293	178,457							
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	0	0	12,539	16,418	0							
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成14年度 単年度事業											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		都市計画道路補助第226号線の完成により、既存道路のカラー化については、沿道住民・商店街から強い要望があった。											
	今後の予測													

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%		14年度予算執行率%	129.0
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	低コスト工法を取り入れコスト縮減に努めたが、将来の維持管理を考慮して、工法の変更による事業費が増になった					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 歩行者の安全確保・居住環境の改善・車両、歩行者の円滑な移動				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的事業である	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 道路管理者の基本的な責務				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか	理由: 道路自体と沿道住民・利用者に限られる				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 道路工事を設計する際は、常にコストの縮減に努め、工法の検討を行っている。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		歩道拡幅工事			整理番号	612		枝番号	2			
所属部課名 都市整備部建設課				コード	58250		連絡先電話番号	3426		昨年度整理番号		
係名 設計係					上位施策名				No			
予算事業名 ふれあい道路の整備				コード	58250		道路交通体系の整備				5	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 14年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第281条2項							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 道路利用者(通過交通・歩行者)				(2) 道路法第16条1項・42条1項							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 高円寺パル舗装工事に伴い、駅へのアクセス道路の歩道を拡幅する。				活動指標名(式)							
	意図(対象をどのような状態にしたいのか) 歩道を拡幅し、段差を解消することによりバリアフリーを推進し、歩行者が安全に、快適に歩ける空間を確保する。				成果指標名(式)							
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		14年度				
指標	活動指標(1)		m			40	40		40		100.0	
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%				100					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円			10,365	10,955		特記事項			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人			0.21	0.25					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	1,907	2,271	0			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	0	12,272	13,226	0				
	単位あたりコスト ÷		円			306,800	330,650					
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	0	0	12,272	13,226	0					
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成14年度 単年度事業									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		高円寺パルカラー舗装工事に伴い、駅へのアクセス道路としての歩道の拡幅は、商店街からの強い要望があった									
	今後の予測											

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%		14年度予算執行率%	105.7
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	低コスト工法を取り入れコスト縮減に努めたが、将来の維持管理を考慮して、工法の変更による事業費の増となった					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 歩行者の安全の確保・移動の円滑化				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 道路管理者の義務的経費				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 歩道と利用者に限られる				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 道路工事をする際は、常にコスト縮減に努め、工法の検討を行っている				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		福祉のまちづくり整備			整理番号	613		枝番号		
所属部課名		都市整備部建設課		コード	58250		連絡先電話番号	3426		
係名		設計係		上位施策名				No		
予算事業名		ふれあい道路の整備		コード	58250		道路交通体系の整備			
事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		14年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地方自治法第281条2項 (2) 道路法16条1項・42条1項 (3) 福祉のまちづくり地域支援事業実施要綱(東京都)						
対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他								
歩道と車道との段差		歩行者		活動指標名(式) (1) 整備延長 (2) 整備箇所						
活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		現在ある歩道と車道との段差を解消する ・車道の路面を上げる工法を採用した路線全体で整備を行う ・緊急性のある歩道と車道の段差を部分的に整備をする								
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		車道と歩道の段差を解消することにより、高齢者や障害者等誰もが安全に移動できる空間を確保する		成果指標名(式) (1) 整備率 = 整備延長 ÷ 総整備延長 (2) 実績率 = 整備箇所 ÷ 総整備箇所						
事業の概要										
区分	単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値			
				計画	実績		15年度	目標値に対する14年度の達成率%		
指標	活動指標(1)	m			160	165	200	365	45.3	
	活動指標(2)	箇所			10	6	10	16	37.5	
	成果指標(1)	%			44	45	55			
	成果指標(2)	%			63	38	63			
総事業費・コスト把握	事業費		千円			39,036	55,639	69,717	特記事項	
	(内)委託費		千円			576	533	1,296		
	職員数(正規 非常勤)		人			0.79	1.27	0.98		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	7,176	11,535	8,901		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	0	0	46,212	67,174	78,618		
	単位あたりコスト ÷		円			288,825	406,376	393,090		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円				8,485		37,180
		特定財源計 +		千円	0	0	0	8,485		37,180
差引:一般財源 -		千円	0	0	46,212	58,689	41,438			
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		バリアフリー法の制定等により、誰もが安全に歩ける歩行空間の整備が求められている。							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		高齢者・障害者等の歩行者誰もが、自由に移動できる歩行空間の要望は多い。							
	今後の予測		杉並区バリアフリー基本構想の策定により、誰もが円滑に移動できる歩行空間の整備の事業量は拡大が予想される。							

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	103.3	活動指標(2)の14年度達成率%	60.0	14年度予算執行率%	142.5
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	西永福の歩道等の車道との段差を改良するだけでなく、且つ、円滑な移動ができるため歩道の拡幅を行い、また、緑化も推進した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)						
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 歩行者の安全の確保・移動の円滑化				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的的事业である	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 事業費・活動量の増加	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 義務的的事业				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 誰もが安全で自由に移動できる歩行空間を確保する目的であるため、歩道とその利用者に限る				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 道路設計時には、常に工法及びコストの縮減を検討し、改善を行っている				
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 杉並区バリアフリー基本構想の策定に伴い、誰もが円滑な移動の確保は、時代的に求められている。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 時代的な事業の必要性はあるが、都市基盤整備のため費用がかかる。東京都の補助金「福祉のまちづくり支援事業」は、平成15年度までとされている。今後、事業を推進するために東京都に補助金の延伸を働きかけて行く。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 バリアフリーの視点から、計画的に事業を進める必要がある。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		久我山駅南北自由通路整備				整理番号	614		枝番号	
所属部課名		都市整備部建設課		コード	221010	連絡先電話番号	3428		昨年度整理番号	
係名		施設整備係		上位施策名			No			
予算事業名		駅周辺の施設整備		コード	58550	道路交通体系の整備			5	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 14年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第281条第2項					
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 当該駅を横断する道路(踏切等)の利用者及び当該駅利用者				(2) 杉並区まちづくり基本方針					
					(3) 道路法					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 久我山駅の橋上駅舎化(京王電鉄の事業)と併せて立体道路施設を設置し、駅舎内通路と連続させた上空自由通路を整備する。平成13年度末、土地開発公社で用地を確保。平成15年度用地取得を行い、平成16年度、立体道路施設を整備。平成17年度から供用開始予定。				活動指標名(式)					
				(1) 用地取得						
				(2)						
意図(対象をどのような状態にしたいのか) 踏切による交通混雑(主に歩行者)を緩和し、当該駅周辺の安全性と利便性の向上を図る。				成果指標名(式)						
				(1) 用地取得率 = (取得面積 / 事業面積) × 100						
				(2)						
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
					計画	実績		17年度		
指標	活動指標(1)		件			(設計)	(設計)	1		
	活動指標(2)									
	成果指標(1)		%				0	100		
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円			10,613	9,680	822,890	特記事項 15年度計画事業費内訳(千円) 用地取得: 574,890 施設整備: 248,000 (16年度へ繰越し執行予定) 目標値は供用開始年度	
	(内)委託費		千円							
	職員数(正規 非常勤)		人			0.85	0.91	1.25		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	7,721	8,266		11,354
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0
	総事業費 ++		千円	0	0	18,334	17,946	834,244		
	単位あたりコスト ÷		円					834,244,000		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						42,900
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		42,900
差引: 一般財源 -		千円	0	0	18,334	17,946	791,344			
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		久我山駅は駅の南北アクセス及び交通ターミナル機能が欠けており、特に、駅に隣接し朝夕大変混雑する危険な踏切の解消が長年の課題となっていた。平成9年に「久我山駅前地区整備総合計画」を作成するなどその推進を図ってきたが、平成11年、南北自由通路整備に関する陳情採択を受け、課題解決に向け区は京王電鉄と事業協力を行い、平成14年度から具体化に向けた整備事業(京王電鉄へ事業委託)を開始した。							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		住民説明会等から駅南口設置については非常に期待されており、事業の早期の実現が望まれている。							
	今後の予測		平成17年度の南北自由通路供用開始に向け、京王電鉄と協議しながらスケジュール通り進めていく。							

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%		活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	91.2
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	設計協定により実施設計を委託し事業を進めた。				
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 危険な踏切が解消され、駅周辺の安全性、快適性、利便性が高められる。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 義務的事業である	理由:			
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 不特定多数の利用者があり、受益者負担はなじまない。			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 道路利用者や駅利用者を限定できないため。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 設計、施工にあたっては、資源の再利用や省エネルギーに努め、工事期間の短縮、工事費の縮減を図っていく。			
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 地域に根ざしたデザイン等により、未長く親しまれる施設として整備を行う。 事業を安全に計画通り進めていくため、随時、京王電鉄と協議を行っていく。				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由	15年度に施工協定を結び京王電鉄とタイアップして事業を進めていくため既に予算計上されている。(16年度に繰越して執行) 16年度については打合せを密にし、事業を円滑に進める。			

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全モデル地区整備計画				整理番号	629		枝番号			
所属部課名		都市整備部建設課		コード	221010		連絡先電話番号	3428		昨年度整理番号	731	
係名		施設整備係				上位施策名			No			
予算事業名		交通安全運動推進		コード	61700		交通安全の推進			6		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 5年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第2条第2項第8号 (2) 交通安全対策基本法第18条第1、2、3項 (3)							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他											
	井草四、五丁目の一部と上井草一・二丁目及び三丁目の一部の地区内道路、道路利用者及び地域住民											
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 「地区交通安全計画」に基づいて、交差点の改良・道路標識の改修等を行い、また交通安全の普及啓発のため、交通安全キャンペーンを実施し、「交通安全ニュース」を発行する。				活動指標名(式) (1) 交差点改良の箇所数 (2) 交通安全キャンペーンの実施							
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 交通安全の普及啓発や歩車共有道路等を整備することにより、安全で良好な生活環境を確保し、歩行者などによる交通事故が減少させる。				成果指標名(式) (1) 交差点改良の整備率 (2) 参加人数								
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画		目標値	目標値に対する14年度の達成率%
							計画	実績		17年度		
指標	活動指標(1)		箇所	0	2	2	5	0	11	45.5		
	活動指標(2)		回	0	1	1	2	1	1	200.0		
	成果指標(1)		%	0	18	36	64	64	100	64.0		
	成果指標(2)		人	0	60	80	70	80	80	87.5		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	8,599	9,786	9,780	243	特記事項 活動指標(1)の目標値は「累計」。14年度までの累計：7箇所			
	(内)委託費		千円	0	92	0	0	0				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.00	0.50	0.35	0.35	0.20				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	4,542	3,179	3,179				1,817
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	0	13,141	12,965	12,959	2,060				
	単位あたりコスト ÷		円		6,570,500	6,482,500	2,591,800					
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円		1,184						
		特定財源計 +		千円	0	1,184	0	0				0
差引：一般財源 -		千円	0	11,957	12,965	12,959	2,060					
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		対象地区は通過交通の流入により、車対人、車対自転車の交通事故が多く発生していた。平成9年に地域交通安全連絡会が発足し、交通安全意識の向上を図ってきたが、依然として交通事故は多い。平成14年度区は「地区交通安全計画」に基づき、交差点の改良や標識の改修等の工事を施工した。									
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）		平成9年に地域住民の代表を中心とした「地域交通安全連絡会」が発足され、区と警察が一緒になってこの地区の交通安全施策について検討を行った。これに基づき平成11年に「地域交通安全連絡会」から、道路構造の改良、交通安全意識の高揚や交通規制などを総合的にとらえた「地区交通安全計画の提案」が提言された。									
	今後の予測		平成14年は交通事故も若干減少したが、さらなる交通安全意識の高揚と事故防止のための交通安全施策を進めていく必要がある。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	250.0	活動指標(2)の14年度達成率%	200.0	14年度予算執行率%	99.9
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	交差点を改良し、標識の改修工事を行った。また、交通安全キャンペーンを実施し、「交通安全ニュース」を回覧して、地域住民にモデル地区内の整備状況、交通事故状況の周知を図った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	「地区交通安全計画」に基づき、平成13年度から交差点の改良や標識の改修工事に着手し始めたため整備費が増加した。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 中(理由)	理由: 交差点の改良や道路標識の改修により、交通事故防止が図れる。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由: 総合的な交通安全対策は交通管理者(警察)と共に、基礎的自治体である区が行う必要がある。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 事業費・活動量の増加	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由: 総合的な交通安全対策は交通管理者(警察)と共に、基礎的自治体である区が行う必要があるため、受益者負担はない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 本事業は、井草・上井草地区を対象とした事業である。しかし、成果をみて対象区域を広げることができる。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 交差点の改良や道路標識の改修については建設コスト縮減実施行動計画によりすでに見直しを実施している。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事故の多い高齢者、小学生を対象に今まで以上に交通安全教室・啓発事業に力を入れて交通事故防止に努めていく。さらにハード面では路面標示・交差点の改良を引き続き行い、将来的には歩車共存道路の整備に取組んでいく。また、対象地域に「交通安全ニュース」を回覧して交通事故防止を訴えていく。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 交差点改良等の点的整備が終了すると、将来的な計画では歩車共存道路整備等の線の整備に移行していくので経費が増加する。また、既定事業や東京都、警察などの関係機関との調整を図るとともに、補助事業を積極的に導入する、					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	交差点改良等で交通事故を減少し、安全で快適なまちづくりをすすめていく。				